学校番号	220

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	新日本史　改訂版（山川出版社）						
副教材等	図説　日本史通覧（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちは、生きていく上での様々な問題に直面した際、「過去を振り返ったり」、「他と比較したり」して問題を解決しようとします。「日本史Ｂ」は日本の歴史を世界史的視野の中でとらえ、世界の国々の歴史や文化と日本の歴史や文化との関係や違いを理解した上で、お互いを尊重する姿勢をもち、科学的な歴史認識を育むことをめざします。世界の中で日本がどのように貢献していくのかを主体的に考えながら、学習を進めていきましょう。

２　学習の到達目標

１．日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解する。
２．歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。
３．日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本史の学習を暗記ではなく、歴史的事実や現象に関心をもち、意欲的にそれらを探求する態度を身につける努力をしている。	歴史の事象や歴史の構造に問題を見いだし、分析したり、総合的に考えたり、科学的に思考したりできる。また、それを表現することができる。	日本の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート 授業への取組状況	定期考査 ワークシート 授業への取組状況	定期考査 ワークシート 授業への取組状況	定期考査 ワークシート 授業への取組状況

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	原始・古代	・文化の始まり ・農耕社会の形成 ・古墳とヤマト政権 ・ヤマト政権の支配機構 ・推古朝と飛鳥文化 ・律令国家への道 ・律令国家の構造 ・天平時代 ・天平文化 ・律令国家の転換 ・摂関政治 ・国司の支配と社会の変化 ・国風文化	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立を自然環境の変化や大陸との影響に着目してとらえることができたか。 b:小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、『魏志』倭人伝などの文献資料に基づき、国内外の情勢をふまえて多角的に考察できたか。 c:資料を用いて、大宝律令による官僚制と税制の確立など、律令体制整備の視点から国家の成立を考察できたか。 d:国際関係の変化や遣唐使の廃止などをふまえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達に着目して、貴族の生活・文化を理解できたか。	ワークシート 定期考査 授業への取組状況
	中世	・院政の成立 ・中世社会への始動 ・鎌倉幕府 ・執権政治 ・鎌倉時代の社会と文化 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・室町幕府の成立と南北朝の内乱 ・室町幕府の支配と守護 ・東アジア世界との交流 ・民衆の台頭と室町時代の文化 ・戦国動乱と諸地域	 ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:流通経済の進展による農業・商工業の発達、庶民が台頭する姿を考察できたか。 b:守護大名などに着目して室町幕府の機構の確立について考察できたか。 c:資料を用いて、鉄砲やキリスト教の伝来、南蛮貿易の展開をふまえてヨーロッパ世界との接触とその影響について考察できたか。 d:今日までつながる庶民文芸の流行、文化や新仏教の地方普及に着目して、庶民文化を理解できたか。	ワークシート 定期考査 授業への取組状況

2学期	近世	・織豊政権 ・江戸時代の政治の仕組み ・江戸時代の社会の仕組み ・江戸時代初期の対外関係 ・幕政の安定 ・江戸時代の経済の仕組みと発展 ・元禄文化 ・幕政の展開 ・社会変容と対外危機 ・化政文化 ・内憂外患と改革	○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:幕藩体制とのつながりに着目して、検地や刀狩に見られる兵農分離策をふまえて、織豊政権の統一過程とその政策を考察できたか。 b:幕藩体制の特質について、農村・農民や町・町人への支配体制、封建的身分秩序の形成をふまえて考察できたか。 c:資料を用いて、初期外交から外交制限政策の過程について、長崎貿易に象徴される貿易統制や禁教の徹底といった側面だけでなく、琉球・朝鮮・蝦夷地との交易など、東アジアの動向と関連させて考察できたか。 d:アヘン戦争以降の対外政策を含めた天保の改革と諸藩の改革を考察し、幕府の衰退を理解できたか。	ワークシート 定期考査 授業への取組状況
2学期	近代・現代	・開国と幕末の動乱 ・明治維新と文明開化 ・自由民権運動と大日本帝国憲法 ・初期議会と条約改正 ・列強の中国分割の始まりと日露戦争 ・日露戦争後の政治と社会 ・近代産業の定着 ・近代文化 ・第一次世界大戦と大陸進出 ・大正デモクラシーとワシントン体制 ・政党政治の展開 ・市民文化の時代	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:欧米文化の導入による文明開化と、欧米諸国と同様の姿勢をとるようになったアジア政策など、多面的・多角的にその影響をとらえることができたか。 b:公武合体、尊王攘夷運動、討幕運動に着目して、近代国家の基盤の形成となる明治維新の意義を考察できたか。 c:資料を用いて、日露戦争における日本の勝利がアジア諸国の民族独立や近代化運動を刺激したことを考察できたか。 d:ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や日本の大陸進出に対する中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、理解できたか。	ワークシート 定期考査 授業への取組状況

3学期	近代・現代	・中国問題と軍部の政治的台頭 ・日中全面戦争と第二次世界大戦 ・太平洋戦争 ・戦後改革 ・冷戦とサンフランシスコ講和会議 ・55年体制の成立 ・高度経済成長と保守政権の定着 ・経済大国日本 ・新しい秩序形成への模索 ・現代日本と日本の進路	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:連合国と枢軸国の性格の違いや国民生活の犠牲のうえに成り立っていた総力体制などをふまえ、日本がアジアの諸国に多大な損害を与えたことや、広島・長崎への原爆投下など日本も空前の戦禍を被ったことに着目できたか。 b:満州事変から国際連盟の脱退に至る日本の対外政策について、五・一五事件などの国内の状況も踏まえて考察できたか。 c:資料を用いて、女性参政権が認められ、政党政治が復活する中、主権在民・平和主義・基本的人権の尊重の３原則を中心とする日本国憲法が制定された経緯と意味を、国民生活の状況もふまえて考察できたか。 d:冷戦終結後の東欧革命、55 年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などを取り上げ、その仕組みを理解できたか。	ワークシート 定期考査 授業への取組状況

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。